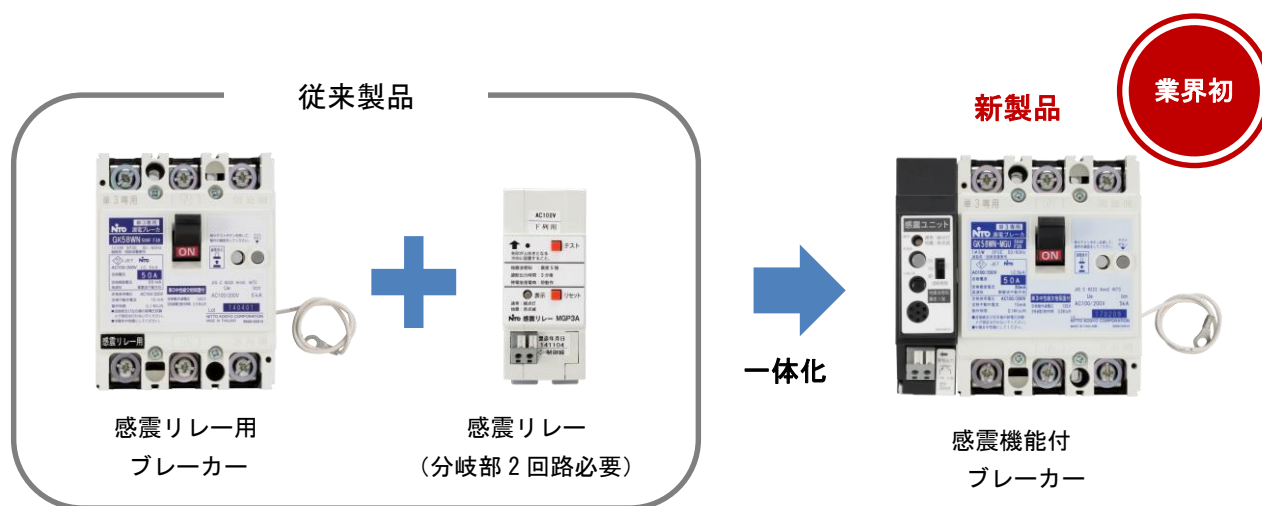


地震による電気火災を防止する 「感震ブレーカー」普及への取り組み強化 業界初！感震機能付ブレーカー開発

日東工業株式会社（本社：愛知県長久手市、取締役社長 佐々木 拓郎）は、業界初となる感震リレーとブレーカーが一体化した「感震機能付ブレーカー」を開発しました。

家庭用ホーム分電盤および産業用分電盤に取付け可能で、住宅以外の工場、飲食店などにも使用範囲が広がり、「感震ブレーカー」の普及促進に貢献します。



■ 感震機能付ブレーカーの主な特長

- (1) 感震リレーとブレーカーが一体のため、基本タイプのホーム分電盤と同じレイアウト、分岐回路数で感震機能の追加が可能です。＜業界初＞
- (2) 増設用タイプは既設分電盤の一次側（電線からの入力側）に取付け可能にしたことで、ホーム分電盤および産業用分電盤などすべてのメーカーの分電盤に対応可能です。
- (3) 感震検知でブレーカーが動作した場合、ランプ点灯により漏電ではないことをお知らせします。＜業界初＞
- (4) 震度 5 強相当以上の地震波感知から自動遮断までの時間を 3 分、1 分、即時より選択可能です。
- (5) 感震センサーに 3 軸加速度センサーを採用し、横揺れに加え縦揺れも検出可能です。

■ 販売目標 年間 1 万台（感震機能付ブレーカー、感震機能付ホーム分電盤）

■ 発売時期 平成 29 年 8 月発売予定

■ 感震機能を搭載したホーム分電盤、増設ユニットの従来比較

新設用	【新製品】感震機能付ホーム分電盤	【従来製品】感震リレー付ホーム分電盤
外観	平成 29 年 8 月発売予定  感震機能付 ブレーカー	 感震リレー用 主幹ブレーカー 感震リレー
遮断時間	3 分、1 分、即時（切替可能）	3 分
感震遮断表示	感震機能によりブレーカーが動作した場合、 ブレーカー投入時ランプが橙色に点灯	なし
分岐取付スペース	必要なし	2 回路必要
価格（円）	42,000（分岐 10 回路機種）～	47,100（分岐 10 回路機種）～

増設用	【新製品】感震機能付ブレーカーユニット	【従来製品】感震リレー
外観	平成 29 年 8 月発売予定  感震機能付 サーキットブレーカー付	 サーキットブレーカーなし
遮断時間	3 分、1 分、即時（切替可能）	3 分（固定）
感震遮断表示	感震機能によりブレーカーが動作した場合、 ブレーカー投入時ランプが橙色に点灯	なし
既設ホーム分電盤	メーカーに関係なく取付け可能	日東工業製ホーム分電盤
価格（円）	31,000（30A）～	20,500

■ 参考資料

感震ブレーカーとは

一定以上の震度の地震が発生した時に、自動的に電気の供給を遮断し、電気が原因による火災を防ぐ機器全般のこと。東日本大震災における火災原因の 6.6%（※1）は電気関係の出火と言われており、大地震発生後の電気復旧時に発生する「復電（通電）火災」を防ぐ有効手段として、近年「感震ブレーカー」が注目されています。

電気火災発生を防止するために、内閣府の“首都圏直下地震対策検討ワーキンググループ”は、木造住宅密集市街地での普及率を 25%以上に引き上げる目標を提言しており、「感震ブレーカー」の設置に関する補助金を出す自治体も少しずつ増えています。

※1. 大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会「大規模地震時の電気火災の発生抑制対策の検討と推進について」（平成 27 年 3 月）より

感震動作機能

- ・震度 5 強相当以上の地震を感知すると、設定時間の間電源ランプの点滅およびブザーが鳴動した後、ブレーカーを自動遮断します。
- ・地震波感知から自動遮断するまでの間に停電が発生すると、復電時にブレーカーを自動遮断します。
- ・停電後 8 秒以内に地震波を感知すると、復電時にブレーカーを自動遮断します。

復電（通電）火災とは

停電が発生し、その後電気が復旧した際、破損した電源コードなどに再び電気が通ることが原因で火災が起こる現象。

以上